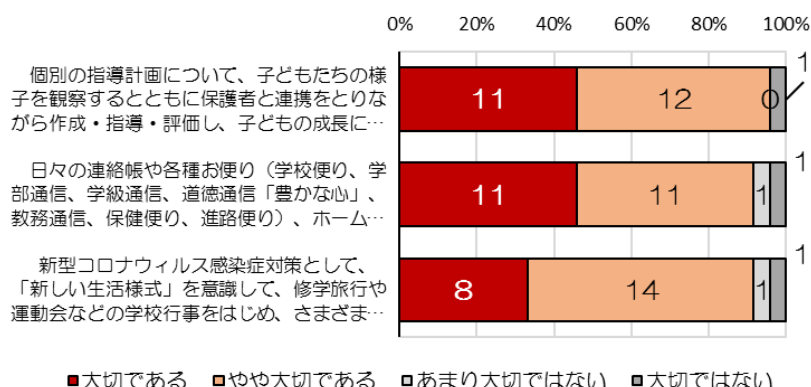
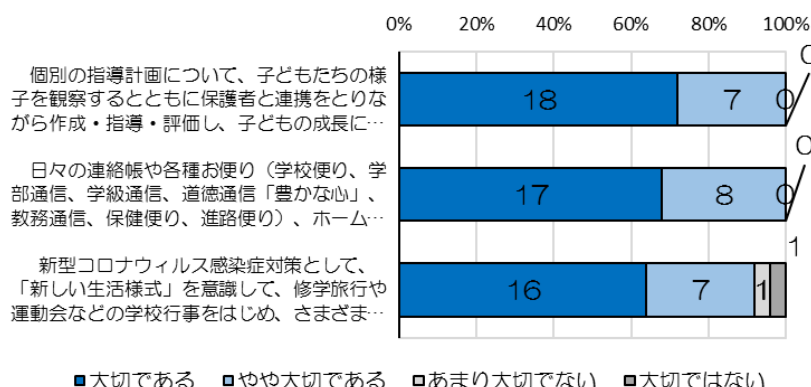


令和4年度学校評価保護者アンケート 教育活動に関するアンケート結果

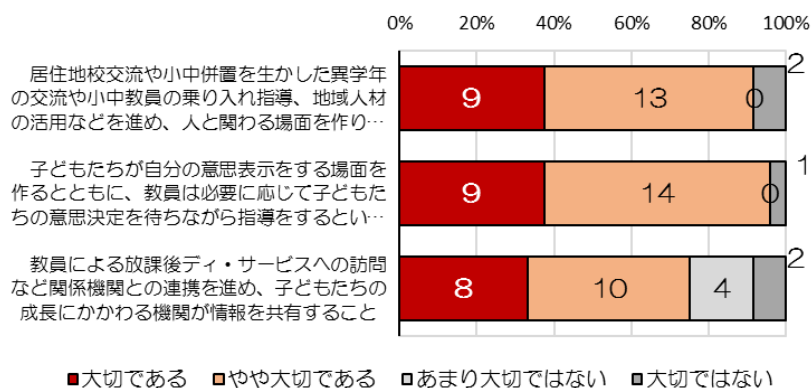
教育活動「たしかに学ぶ子」（小学校保護者）



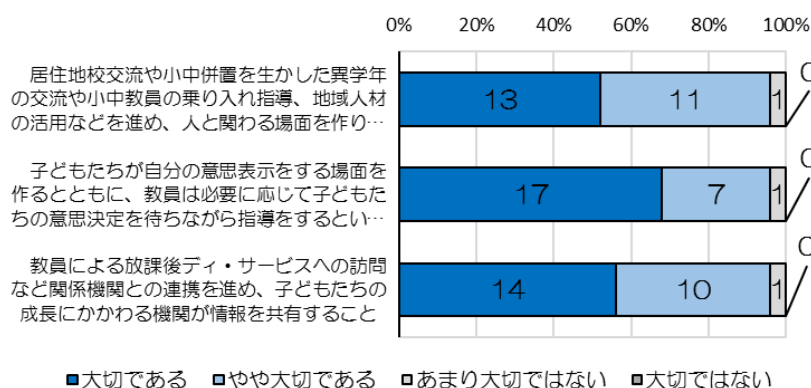
教育活動「たしかに学ぶ子」（中学校保護者）



教育活動「かかわりをもてる子」（小学校保護者）



教育活動「かかわりをもてる子」（中学校保護者）



「めざす子ども像」の一つ
「たしかに学ぶ子」に関する設問
＜小学校＞

- ①「学校・家庭の連携、個別の指導計画」
・肯定的回答 **95.8%**（昨年 91.7%）
- ②「情報共有」
・肯定的回答 **91.7%**（昨年 91.7%）
- ③「新生活様式を踏まえた教育活動」
・肯定的回答 **91.7%**（昨年 79.2%）

＜中学校＞

- ①「学校・家庭の連携、個別の指導計画」
・肯定的回答 **100%**（昨年 100%）
- ②「情報共有」
・肯定的回答 **100%**（昨年 100%）
- ③「新生活様式を踏まえた教育活動」
・肯定的回答 **92.0%**（昨年 100%）

小・中学校ともに、重点として取り組んできたことについて、ご家庭のご理解とご協力をいただいていることに感謝申し上げます。

「新型コロナへの対応」は、感染者数が減っている中ではあるが予断を許さない取組が必要である一方、状況を見極めながら、より効果的な学習を模索することを継続してまいります。

「めざす子ども像」の二つ目である
「かかわりをもてる子」に関する設問
＜小学校＞

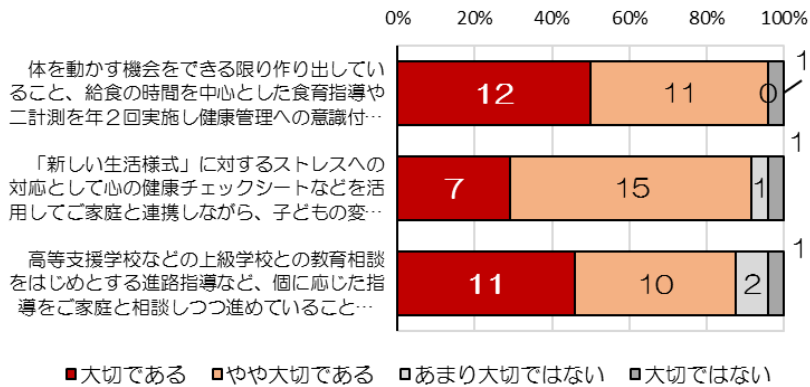
- ④「人と関わる場面の創出」
・肯定的回答 **91.7%**（昨年 87.5%）
- ⑤「決める、伝える場面の設定」
・肯定的回答 **95.8%**（昨年 91.7%）
- ⑥「関係機関との情報共有」
・肯定的回答 **75.0%**（昨年 83.3%）

＜中学校＞

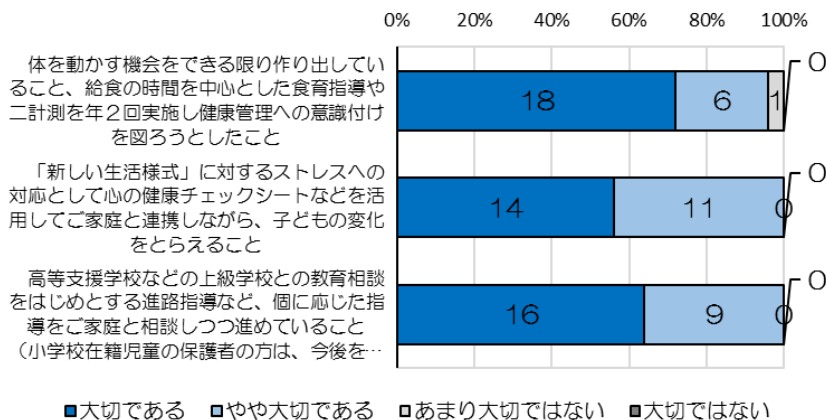
- ④「人と関わる場面の創出」
・肯定的回答 **96.0%**（昨年 95.7%）
- ⑤「決める、伝える場面の設定」
・肯定的回答 **96.0%**（昨年 100%）
- ⑥「関係機関との情報共有」
・肯定的回答 **96.0%**（昨年 100%）

年度重点「自分の考えをもち、表現しようとする子どもの育成～「担い」「認め合う」ことで培う自己有用感～」と直接関連する項目です。小中ともに「人と関わる場面の創出」の成果を学校と家庭とが共通認識に立てている結果となっています。今後も、地域や行政と顔の見える関係を構築して、子どもたちの育ちを支えていきたいと思ひます。

教育活動「たくましく生きる子」（小学校保護者）



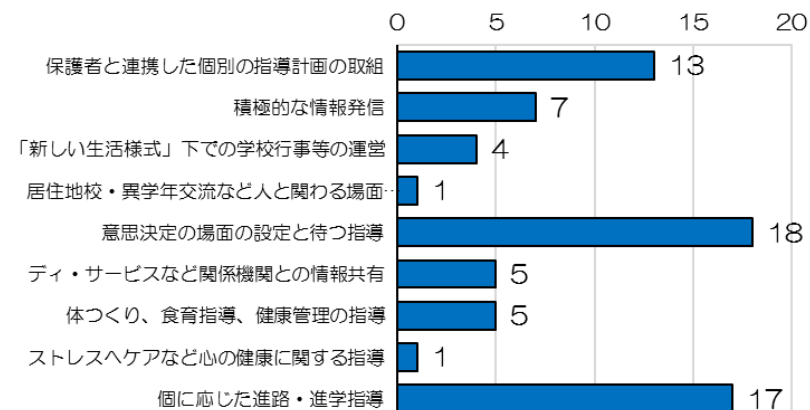
教育活動「たくましく生きる子」（中学校保護者）



より大切な取組と思う教育活動（小学校保護者）※3つ選択



より大切な取組と思う教育活動（中学校保護者）※3つ選択



「めざす子ども像」の三つ目
「たくましく生きる子」に関する設問
＜小学校＞

⑦「体力向上・食育指導」
・肯定的回答 **95.8%**（昨年 91.7%）

⑧「心の健康チェック」
・肯定的回答 **91.7%**（昨年 83.3%）

⑨「個に応じた進路指導」
・肯定的回答 **87.5%**（昨年 83.3%）

＜中学校＞

⑦「体力向上・食育指導」
・肯定的回答 **96.0%**（昨年 100%）

⑧「心の健康チェック」
・肯定的回答 **100%**（昨年 100%）

⑨「個に応じた進路指導」
・肯定的回答 **100%**（昨年 100%）

いずれの項目も、自立や就労に向けて必要とされる資質・能力であることから、義務教育9年間で中長期的に育んでいかなければならないと考えています。なお、「個に応じた進路指導」の項目については、小中一貫での取組内容の定期的な見直しで、より実効性のあるものにし続けることが大切と考えています。中学校では、義務教育

昨年までの傾向と同様に、
小中ともに、

①保護者と連携した個別の指導計画の取組

②意思決定の場面の設定と待つ指導

③個に応じた進路・進学指導
が、上位3項目でした。これらの資質・能力は、これからの時代に求められるものでもあるととらえています。

なお、この設問は、「3項目選ぶとしたら」という設定での問いであるため、上記6つのグラフと併せて読み取ることが必要と考えます。

教育活動に対するアンケートの結果につきましては、職員で検討を行い、次年度の学校経営の基本方針に反映してまいります。

